

里山 若葉眩しい里山で天ぷらパーティー

—大洞の里山つくろう会会長・秋松 旭さん

4月27日、里山「いこいの広場」で多くの皆さんを迎えて天ぷらパーティーを開催しました。

開会式に続く里山ウォーキングは、健脚組の硯石コースと、ゆっくり安全組の湧水コースに分かれて実施し、目にもまばゆい若葉の里山遊歩道を新鮮な山の空気をいっぱい吸い込んで歩きました。



ウォーキングから帰ると里山の「コシアブラ」をメインとする天ぷらと、里山近くの竹やぶで採れたタケノコ飯で天ぷらパーティー。



歩き、食べて元気をもらった春の一日でした。

<コシアブラ>

「コシアブラ」はまだあまり知られていないが、「タラの芽」同様の人気のある山菜になってきた。その姿、形、味などはもう「タラの芽」をしぐ勢いの感がある。「タラの芽」が山菜の王なら、「コシアブラ」は紛れもなく山菜の女王である。 □■



配布

大洞
4-78

東山
4-50

北山
38-360

コモン北
5-89

桜台
23-336

桜市
40-283

柏台
31-329

柏市
26-207

桐丘
23-194

桐市
6-40

紅葉
21-265

紅市
16-115

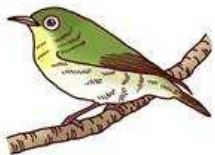
桜2P
1-25

計 237
/2371

巣立ち メジロが庭木に巣をつくり

—芥見東自治会連合会副会長・野崎 龍雄

新緑につつまれ、ウグイスが鳴いている4月末に我が家の庭に植えてあるカナメモチの木に、メジロが3年連続して巣を造りました。大きさは握りこぶしぐらいで、地面より約1メートルのところであり、なかなか見つけにくかった。



その後約10日間、親鳥が巣の中にいました、卵を温めているのでしょうか。5月10日に確認するとひな鳥が三羽いました、丁度、孵化したての状態だと思われま。5月20日に確認すると巣の中はもぬけの空で、すでに巣立った後でした。また来年も来てくれることを祈っています。

これでやっとカナメモチの木を剪定することができます。 □■

朝 山 田 川 情 景

—北山支部長・岡田 尋光さん

鮮やかな春を彩り賛歌した山田川の桜もいまは眩しく光り輝く葉桜となり、岸边に咲く草花の黄、赤、ピンクの彩りをそえて、初夏を感じさせています。

水面のキラキラ光る波間をぬって泳ぐ小魚、それをじっと見つめていると、登校の子供たちが元気にやってきました。

桜の季節に新入学。背中いっぱい大きなランドセルをしょってた子ども少しなれて、似合ってきたかな、と朝の登校時、見送っています。見守り隊のおじさん、おばさんと、「おはよう、おはようございます」の挨拶も、徐々に声も大きく元気になってきました。

お兄ちゃん、お姉さんに遅れまいと駆ける子、少しいたずらしながら、わいわいがやがや騒ぐ兄弟の後を追っかけ付いてゆく子、登校する子供たちは生き生きして、楽しそう。おしゃれな子もたくさんいます。バンダナの似合う男の子、テレビから抜け出たような、可愛いお洋服の女の子、少しお姉さん風を感じさせる子、サッカー志望の兄さんルック、それぞれ、お父さん、お母さんの思いを感じさせます。

少し目線を転じて周りの景色を見る、南山、北山、東山すこし離れて権現山、いずれも、初夏の色合いが日増しに深くなり、つい10日程まえの、若草色の山々も、もうクリアーなディープグリーンに移り、吹く風も薫風となって、山田川を抜けています。

散策を楽しむ人も多く老若男女、朝早くから「おはよう、おはようございます」が飛び交って、明るい穏やかな風情をみせています。

この恵まれた環境とそしてコミュニティー 山田川陽光のなかの情景です。

より良き“絆”を高め見守り愛を育てよう。 □■



H. Ohada

☆防災訓練開催のお知らせ ↓ 日時：6月9日(日)午前8時30分〜 一時避難所は7ヶ所です 今年小学生も中学生も訓練に参加します

藍東中 舞い上がる鯉のぼりに学ぶ

—藍川東中学校3年生・西 明香理さん

5月5日、子供の日。今年もまた、たくさんの鯉が山田川の上を泳ぎました。

毎年、地域の方々の手で鯉のぼりがあげられます。そのお手伝いとして活躍するのが「中学生☆鯉のぼりあげ隊(ボランティア)」です。



4月28日の朝、中学生ボランティアは70人ほど集まりました。活動する前に、地域の方が「おはよう」「頑張ろう」と声をかけてくださり、『よし、頑張ろうー』という気持ちが湧きました。山田川の小さなかけ橋に小さな鯉のぼりとふき流しを、大きいものは山田川の上を横切るワイヤーに、くくりつけます。縄を結ぶ際、地域の方が「こうすると鯉がとばないよ」とアドバイスをしてくださいました。くくりつけが終わったワイヤーを引き上げた時、風にあおられて舞った鯉のぼり。赤、青、黄、紫、ピンク、橙や黒、紺、茶三色とりどりの鯉がうれしそうに見えました。

このボランティア活動では、地域の方々とのふれあいの温かさを学ぶことができました。



どんどん外へ出よう いつ? いまです!

—紅葉が丘支部・太茂野 洋さん

昨今、全国の団地では高齢化によるゴースト化が増加しつつあり、私たちの大洞団地も10年後には同様の恐れがあります。

高齢者の子孝行及び地域活性化のポイントは彼らが健康で元気なこと。特に元気印のキーマンは男性です。

思い切って意識を変え、どんどん外へ出ませんか! 長いサラリーマン生活で見つけられなかった自分に合う趣味、何をしても良いのか分からない人も、今さら新しいことを始めてもと考えず、何でも良い、とにかくチャレンジしてみませんか! (自分に合わなかったら止めれば良い)。その結果、地域に於ける人の輪が必ず広がると思います。そして自分も地域も元気になると、私は確信しています。

ちなみに私は四つのサークル活動と大好きな登山などを楽しみ、日々忙しく過ごしています。



私の小さな楽しみ



分別 普段からゴミの減量を心がけて

—桐が丘市営支部・H・Tさん

先日子供が東部クリーンセンターに郊外学習へ行き、もってきた資料をたまたま見てみました。私たちが普段何気なく出しているゴミについて考えたことがありますか?

岐阜市の一昨年度のゴミの量は、14万2,637トン、一人当たり1日平均で約1キロのゴミを出したことになり、岐阜市にある3つのゴミ焼却施設では、1日平均約400トンのゴミを燃やしているそうです。ゴミは燃えて灰になり、煙とともに煙突に向かいます。そのままでは公害となるため、専用の機械などで排ガスをきれいにしてから、大気中に出しているため、有害な煙で大気を汚染することは無いとのこと。



私たちが安心して生活できるのは、このような施設のおかげだと感謝し、ゴミの分別をしっかりと行い、リサイクルでゴミの量を減らすよう心がけなければならないと思います。

こちらのセンターは見学ができ、リサイクル講座などがあるので、ぜひご家族で出かけてみてはどうでしょうか。



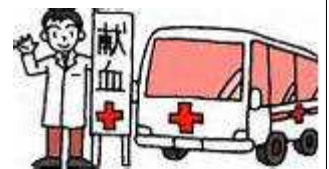
赤十字奉仕団 活動を通じ深まる交流

—岐阜市赤十字奉仕団芥見東分団・小寺 正子さん

今回、岐阜市赤十字奉仕団芥見東分団の活動について、地域の皆様にお伝えしたいと思います。

私たちは、毎月第4月曜日に定例会を開き、次のような行事について協議しています。

- ① 岐協苑、はなみずき苑、あかりなどでの奉仕活動
- ② 長良川の清掃や地域のゴミ0運動
- ③ 夏まつり(フランクフルト販売)と翌朝の清掃
- ④ 防災訓練(救護担当)
- ⑤ 市民運動会(三角巾の審査)
- ⑥ 健康ウォーキング(豚汁を作って提供)。毎年大好評です
- ⑦ 校区(Vタウン年2回)献血運動。



4月27日は43名(29名が400cc、14名が200cc)、大勢の御協力に血液センターの方も大変感謝されていました。本当にありがとうございました。その他いろいろありますが、このような奉仕活動を通じて、団員同志だけでなく地域の方々との交流も深まり楽しく活動しています。

皆さんも一緒に楽しみませんか。

